

十勝の事例から持続可能な事業運営を考える

西部十勝野外活動体験研修事業 「クマゲラの村キッズキャンプ」

十勝管内

清水町教育委員会 太田 希



●西部十勝の概要



【清水町】 人口：9,157人 面積：402km²
牛乳、牛とろフ레이크、十勝若牛

【新得町】 人口：5,668人 面積：1,063km²
そば、新得地鶏、原木しいたけ

【芽室町】 人口：18,181人 面積：513km²
スイートコーン、豆、じゃがいも



●目的

西部十勝（清水町・新得町・芽室町）の小学4年生から高校3年生までが一堂に集い、体験活動を中心とした異年齢集団での団体生活や交流を通して、挑戦・発見する心や友情を学ぶとともに、リーダーとしての資質向上を図り、西部十勝の青少年活動の活性化を目指す。

●目標

- (1) 仲間と協力することの喜びを感じてもらう。
- (2) 自分の考えを仲間に伝え、リーダーとしての達成感を感じてもらう。



●事業の概要

中高生
準備

☆リーダー研修会☆

3月18日(土) 9:00~17:00

小学生
初対面

☆キッズキャンプ事前研修会☆

3月19日(日) 9:00~12:30

いざ
本番!

☆キッズキャンプ本研修☆

3月25日(土) 9:00~17:00

3月26日(日) 9:00~17:00



本研修 1 日目 3月25日 (土)

8:30 新得町公民館・芽室町中央公民館出発

9:00 清水町文化センター集合

9:10 入村式
オリエンテーション

9:30 ゲーム

11:00 クラフト活動①

12:00 昼食 (運営用意)

13:00 クラフト活動②

14:00 **部族活動①**
スタンツ準備

16:00 高校生：リーダーふりかえり会
小中学生：ゲーム

17:00 一日目解散

本研修 2 日目 3月26日 (日)

8:30 新得町公民館・芽室町中央公民館出発

9:00 清水町文化センター集合

9:10 クマゲラ朝のつどい

9:30 クイズラリー

12:00 昼食 (運営用意)

13:00 **部族活動②**
スタンツ準備

14:30 **スタンツ発表**

15:30 全体のふりかえり会

16:00 部族お別れ式

16:30 退村式

17:00 2日目解散

日帰り
2日間



リーダー研修会 3月18日(土)

事前研修会 3月19日(日)

8:30 新得町公民館・芽室町中央公民館出発

8:30 新得町公民館・芽室町中央公民館出発

9:00 集合 清水町文化センター

9:00 集合 清水町文化センター

9:10 開会式

9:10 開会式

9:20 オリエンテーション
アイスブレイク

9:25 ①全体説明

- ・事前研修(本日)の予定
- ・研修の目的、プログラム
- ・注意事項
- ・持ち物の説明

1週間後
において

9:50 **研修1** リーダーの役割

9:50 ②全体交流

- ・アイスブレイク

11:20 **研修2** スタンツ発表について

10:30 ③部族活動

- ・自己紹介
- ・部族名を決める
- ・部族旗づくり

12:05 昼食(各自持参した弁当)

12:45 **研修3** ゲーム計画・実演

12:00 ④結果発表

14:45 **研修4** クラフト活動の練習

15:45 **研修5** クイズラリー予行

12:20 閉会式

12:30 解散

16:30 リーダー研修のふりかえり

17:00 解散

本研修のために
仲良くなろう



●事業のふりかえり

過去20年ほど続いている事業を一切知らず、
また経験の多くない担当者での実施となったが、
開催要項にある事業の目的・目標は達成できた



●社会教育委員からの評価

(一部抜粋)

(宿泊2泊3日のとき)

- ☆H30 ・参加した生徒は大きな財産を得て学校に還元しているのので、ぜひ続けてほしい
- ☆R1 ・リーダー養成は必要であると思うので続けてほしい
- ・子どもたちにとって良い経験ができるので継続してほしい

(日帰り2日間のとき)

- ☆R4 ・必要な事業なので参加人数が増えるよう工夫して続けてほしい
- ・人間形成に有益



● R 4 参加者からの感想

(一部抜粋)

令和4年度 西部十勝野外活動体験研修事業

「新!クマゲラ宣言!」

クマゲラの村'23春キッズイベント

と き 3月25日~26日

ところ 清水町文化センター

研修の思い出



R 4 参加者文集より

「楽しかった」「また参加したい」「満足した」
「最初は不安だったけどみんなですごく楽しかった」

社会教育委員の評価、参加者の感想より
事業評価は「概ね高い」といえる



Q.なぜ継続しているか



担当者

なぜこの事業は
続いているのか

楽しかったから
また参加したい



参加者

何が良かったのか

班行動かな



担当者N



A.アシスタの存在

①参加者とアシスタのいい距離感

- ☆職員は運営のため参加者とどうしても距離感がある
- ☆職員ではないアシスタはちょうどいい距離感

②小→中→高→アシスタという流れ

- ☆小学生は中学生の、中学生は高校生の、
高校生はアシスタのかっこいい姿に憧れる
- ☆自分がリーダーになったときに班を率いたい

アシスタ（過去の参加者）がいるから
これらの「クマゲラらしさ」を継承できる



事業継続



●まとめ

「リーダー研修会」事業としての運営は、行政でできる

「クマゲラの村」としては、アシスタ+担当者 の両方が必要

事業が20年来続いているのは「クマゲラの村」であるからで、この「クマゲラらしさ」があるのはアシスタ（地域の人）のおかげ



アシスタ（地域の人）がこの事業を継続している



●課題



①リーダー育成事業の最終的なゴール

- ☆参加者、社教委員の評価はおおむね高いが……
- ☆地域におけるリーダーとは何か

②ただの社会教育事業で終わらない

- ☆あくまで社会教育事業の一つが継続しているだけ
- ☆それぞれの町にどうやって還元していくか



地域の可能性を引き出せるような事業にしたい

